

- 4) Nunez P, Haniastuti T, 子田晃一, 江尻貞一, 星野悦郎: Evaluation of root canal obturation using radiographs and micro-CT. 平成 19 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2007 年 7 月 14 日, 平成 19 年度新潟歯学会第 1 回例会プログラム p23, 2007.
- 5) Haniastuti T, Ohsima H, Kota K, Hoshino E: Reversible Histopathological Damages of Pulp Tissue with Spontaneous Pain. 平成 19 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2007 年 7 月 14 日, 平成 19 年度新潟歯学会第 1 回例会プログラム p23, 2007.
- 6) 上松弘幸, 星野悦郎: 歯周ポケットから分離された *Filifactor alocis* 分離株について. 第 49 回歯科基礎医学会総会, 札幌, 2007 年 8 月 29-31 日, 歯科基礎医学会雑誌 49, p162, 2007 年.
- 7) Nunez P, Haniastuti T, 子田晃一, 江尻貞一, 星野悦郎: Root canal obturation evaluated radiographs and micro-CT. 第 49 回歯科基礎医学会総会, 札幌, 2007 年 8 月 29-31 日, 歯科基礎医学会雑誌 49, p178, 2007 年.
- 8) Moral MD AA, 星野悦郎: バングラデシュにおける LSTR 療法成績, LSTR 療法学会, 東京, 2007 年 9 月 16 日.
- 9) Aggraeni R, 星野悦郎: インドネシアにおける LSTR 療法成績, LSTR 療法学会, 東京, 2007 年 9 月 16 日.
- 10) Thaweboon B, Uematsu H, Hoshino E: Detection of Host Destroyed-Cell-DNAs in Periodontal Pockets. 平成 19 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2007 年 11 月 10 日, 平成 19 年度新潟歯学会第 2 回例会プログラム p19, 2007.

#### 【特別講義・講演】

- 1) 星野悦郎: もっと SavePulp, もっと NIET, LSTR 療法学会, 東京, 2007 年 9 月 16 日.
- 2) Hoshino E.: LSTR 3Mix-MP caries, pulpal and endodontic treatment. International Dental Seminar, ダッカ, 2008 年 2 月 16 日.

#### 歯科基礎移植・再生学分野

#### 【原著】

- 1) Kawase T, Okuda K, Yoshie H (2007) Extracellular ATP and ATP $\gamma$ S suppress the proliferation of human periodontal ligament cells by different mechanisms. J Periodontol 78(4):748-756.

#### 【特許出願】

- 1) 川瀬知之 (出願人: 新潟大学) 「ヒト歯根膜細胞株, この細胞株から分化した造骨細胞およびこの造骨細

- 胞から作製した人工骨」(特願 2007-147906).
- 2) 川瀬知之 (出願人: 新潟大学) 「培養人工骨及びその作製方法」(特願 2007-051153).
- 3) 川瀬知之, 奥田一博 (出願人: 新潟大学) 「ヒト骨膜培養方法」(特願 2007-217340).
- 4) 川瀬知之, 羽根邦夫 (出願人: 新潟大学) 「コンパクト回転培養システム及び培養容器」(特願 2007-298869).
- 5) 中田 光, 川瀬知之, 明歩谷英樹, 石川俊一, 大竹富士雄 (出願人: 新潟大学) 「再生医療用基材」(特願 2007-222447).

#### 【研究成果報告書】

- 1) 吉江弘正. (分担: 川瀬知之) 「石灰化誘導が可能なヒト未分化歯根膜細胞の新規クローン化」科学技術振興機構, 平成 19 年度シーズ発掘試験.
- 2) 川瀬知之, 奥田一博, 布施一郎, 島賢一郎, 中島武彦, 明歩谷英樹, 羽根邦夫. 「高齢化社会に適した再生医療普及のための安価な培養システムの開発」科学技術振興機構, 平成 19 年度 (~ 21 年度) 育成研究課題.
- 3) 奥田一博, 川瀬知之, 鈴木啓展. 「ヒト成体由来細胞を用いた歯周組織の組織工学的再生」日本学術振興会科学研究費, 平成 17-19 年度基盤研究 (B) 一般.
- 4) 中田 光 (分担: 川瀬知之のほか) 「3次元編み技術による骨・皮膚・口腔再生医療のための新基材開発」経済産業省, 平成 18-19 年度地域新生コンソーシアム研究開発事業.

#### 【学会発表】

- 1) Okuda K, Yamamiya K, Kawase T, Hata K, Wolff LF, Yoshie H. Tissue engineered cultured periosteum sheets combined with platelet-rich plasma and porous hydroxyapatite in regenerating human periodontal infrabony osseous defects. Asia-Pacific Chapter - Tissue Engineering and Regenerative Medicine Society International (Tokyo, Japan, 2007.12.3-5).
- 2) 川瀬知之, 明歩谷英樹, 小神浩幸, 奥田一博, 吉江弘正, 中田 光. 再生医療用基材としてのポリ乳酸ニットの可能性. 第 10 回日本組織工学会 (慶応大, 東京, 2007.11.8-9.)
- 3) Yamamiya K, Okuda K, Kawase T, Hata K, Wolff LF, Yoshie H. Tissue engineered human cultured periosteum sheets combined with platelet-rich plasma and porous hydroxyapatite in treating human periodontal infrabony osseous defects. The 93rd Annual Meeting of the AAP (Washington,

D.C., USA, 2007.10.27-30.)

- 4) 川瀬知之, 奥田一博, 吉江弘正, 中田 光. 医歯学総合病院生命科学医療センター再生・移植医療部門における歯周再生医療. 第50回日本歯周病学会春季学術大会(神奈川県大, 横須賀, 2007.5.17-19.)
- 5) 山宮かの子, 奥田一博, 川瀬知之, 畠賢一郎, 吉江弘正. 培養骨膜シート+多血小板血漿+多孔性ハイドロキシアパタイト顆粒の歯周骨内欠損に及ぼす効果-症例比較研究: 6ヶ月予後. 第50回日本歯周病学会春季学術大会(神奈川県大, 横須賀, 2007.5.17-19.)

#### 【研究会発表】

- 1) 川瀬知之, 明歩谷英樹, 小神浩幸, 奥田一博, 吉江弘正, 中田 光. 再生医療用基材としてのポリ乳酸ニットの試作. 第16回新潟移植再生研究会(新潟大学医学部泌尿器科, 有壬会館, 2007.11.5.)
- 2) 川瀬知之. 普及型再生細胞療法が必要とする簡便な3次元細胞培養技術の開発を目指して. 第2回新潟細胞再生医療シンポジウム(新潟細胞・再生療法懇話会, 新潟大学ベンチャービジネスラボラトリー, 2007.4.19.)

#### 【その他】

- 1) 川瀬知之. 歯周組織再生に特化した簡易型培養人工骨作製キットの開発. JST Innovation Bridge-新潟大学シーズ発表会2007(パレスホテル, 東京, 2007.11.22.)

### 生体材料学分野

#### 【論文】

- 1) Moriyama H, Kobayashi M, Takada T, Shimizu T, Terada M, Narita J, Maruyama M, Watanabe, K, Suzuki E, Gejyo F: Two-dimensional Analysis of Elements and Mononuclear Cells in Hard Metal Lung Disease. Am J Respir Crit Care Med 176 (1): 70-77, 2007.

#### 【著書】

- 1) 渡辺孝一: 生体・医療1. インプラント(生体適合)(諸貫信行, 榊田正美, 太田 稔編). 微細加工と表面機能 ナノ・マイクロ構造による光学, 摩擦, むれ等の機能実現, 267-270頁, リアライズ理工センター, 東京, 2007
- 2) 渡辺孝一: 鋳型の作製(小倉英夫, 高橋英和, 宮崎 隆, 小田 豊, 榎本貢三, 小園凱夫 編). コア歯科理工学, 200-212, 医歯薬出版, 東京, 2007

#### 【講演・シンポジウム】

- 1) 油井邦雄, 西嶋康一, 渡辺孝一, 小林正義, 池田照, 井上裕之, 小林隆二: 統合失調症のストレス脆弱性の形成様態-フラッシュバック現象との関連. 第103回日本精神神経学会総会, 高知, 2007年5月17日, 精神神経学雑誌, 109 (8), 777-785頁, 2007年.
- 2) 大川成剛: 表面処理したチタンは生体親和性に優れるか. 大学発シーズプレゼンテーション in 新潟国際ビジネスメッセ2007, 新潟, 2007年11月9日. 同要旨集 65-72頁, 2007年.
- 3) 渡辺孝一: 塵肺など組織切片内異常蓄積元素のX線マイクロアナライザーによる検出. 平成19年度日本顕微鏡学会, 北海道支部学術講演会, 特別講演1, 札幌, 2007年12月1日. 講演要旨集, 1頁, 2007年.

#### 【研究成果報告書】

- 1) 大川成剛, 金谷 貢: 極性交互交換低電圧電解法によるバイオマテリアルナノ粒子の創製, 科学研究補助金基盤研究(C) 課題番号18592116, 2008年.

#### 【学会発表】

- 1) Kanatani M, Okawa S, Watanabe K, Nakano S, Hotta N, Kobayashi M: Feasibility of Titanium Casting Using Ceramic Mold with High Thermal Conductivity - Case of High-temperature Mold Using hBN Plate-. International Dental Materials Congress 2007, Bangkok, 2007.11.23. Proceedings of the International Dental Materials Congress 2007, p281, 2007.
- 2) Homma K, Watanabe K, Okawa S, Kanatani M: Anodic Oxidation of Ni-Ti Orthodontic Wires in Different solutions. International Dental Materials Congress 2007, Bangkok, 2007.11.24. Proceedings of the International Dental Materials Congress 2007, p299, 2007.
- 3) Okawa S, Homma K, Nakano S, Kanatani M, Watanabe K: Characterization of Calcium Phosphate Compound Deposited on Valve Metals with Anodic Oxidation Process. International Dental Materials Congress 2007, Bangkok, 2007.11.24. Proceedings of the International Dental Materials Congress 2007, p312, 2007.
- 4) Watanabe K, Okawa S, Kanatani M, Homma K, Nakano S, Kobayashi M: Bone Formation on Grooved Titanium Implant Extracted from Rat Bone. International Dental Materials Congress